

腦神經外科

名古屋大学医学部附属病院



| | |
|------|--|
| 病院長名 | 石黒 直樹 |
| 所在地 | 〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65番地 |
| 交通案内 | JR中央線「鶴舞駅(名大病院口)」下車 徒歩3分 名古屋市営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩8分 |

病院の特徴

名古屋大学では従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008年度からは、初期研修後の専門医育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT(On the Job Training)を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

脳神経外科専門研修名古屋大学医学部プログラム

【研修目標】

脳神経外科を専攻する優れた医師を養成し、脳神経外科学の進歩発達とその診療水準の向上をはかり、国民の福祉に貢献すること

【研修期間】

4年

【研修スケジュール】

医学部卒業後2年間の初期研修のあと、3年目以降の後期研修として専攻医研修を行う。連携施設とは一般社団法人日本脳神経外科学会・日本専門医機構に認定された、プログラム責任者が認める指導医が2名以上常勤する高度な医療技術を有する病院であり、その多くは愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の地域中核病院である。指導医のもとに多くの手術を術者としての経験させるように指導しており、初期専門医教育の修了時には脳神経外科医としての各種疾患に対する基本的手術手技について豊富な症例数に裏打ちされて、そのほとんどが経験できる。卒業後6年目前後には後期専攻医教育を基幹施設である大学病院で研修の仕上げを行い、卒業後7年目に専門医試験に臨む。専攻医全体への学習機会として、本プログラムにおいては平成27年2月より専攻医向け勉強会をさらに充実強化させた。すでに手術経験数に恵まれた専攻医が、エビデンスや最新の知見に基づいた治療を選択し、専門医取得後の日常診療に活用させることを目的としている。

主な連携施設

岡崎市民病院、国立病院機構名古屋医療センター、静岡済生会総合病院、JCHO中京病院、名古屋第二赤十字病院、名古屋掖済会病院、小牧市民病院、豊橋市民病院、市立四日市病院、半田市立半田病院、名古屋第一赤十字病院、愛知県厚生連海南病院、安城更生病院、一宮市立市民病院、公立陶生病院、大垣市民病院、西尾市民病院、中部労災病院、岐阜県立多治見病院、豊田厚生病院、医療法人豊田会刈谷豊田総合病院、久美愛厚生病院、中濃厚生病院、厚生連渥美病院、江南厚生病院、総合青山病院、春日井市民病院、東可児病院、稲沢市民病院、あいち小児保健医療総合センター、医仁会さくら総合病院、静岡県立静岡がんセンター、名古屋共立病院、名古屋セントラル病院

メッセージ

指導医
病院講師 荒木 芳生



名古屋大学は多くの研修施設を有しており、年次が近い研修者が一施設に集中することなく、術者としての機会を早くから得ることができるのが特徴です。また専攻医の先生には後期研修2年目以降、少なくとも2カ所以上(基幹施設を除く)の研修施設でのローテーション研修を原則とし、経験する症例の偏りがないようにしています。どの研修施設も症例数も多く、多岐にわたる疾患に対応しなければなりません。忙しくも充実した日々を過ごすことができます。研修施設の中には、神経内視鏡、小児、脊椎、てんかんなどの特殊な疾患に特化した施設もあり、希望に応じて研修先を変更することも可能です。名古屋大学の研修プログラムをうけた多くの人が、後期研修を終了する頃までには指導医のもとで前方循環の脳動脈瘤クリッピング術を完遂できるようになっており、この研修プログラムの成果の一つだと感じています。後期研修終了後は大学病院での研修を行い、研修の仕上げとなります。大学病院には日本をリードするsubspecialtyのスタッフが多数おりますので、最新のトピックスを身近に聞くことができ、先端医療、難易度の高い手術や特殊な症例を数多く経験できます。難関である脳神経外科専門医を最短で取得できるよう、専門医試験対策勉強会(専攻医が定期的に集合して行う勉強会)や専攻医向け試験対策講義・試験(試験を合格して間もない専門医が担当)等も開催されており、高い合格率を維持しています。

募集要項

| | | |
|--------|---|----------------------------|
| 採用予定人数 | 12人(予定) | |
| 給与/月額 | 月額約20万円に加え、該当する場合に手当(通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当(夜間診療業務手当等))を支給 | |
| 当直回数/月 | 約2回/月 | |
| 当直料/回 | 20,000円/回 | |
| その他 | 平日日勤帯の外勤等(週1日まで)可 | |
| 応募連絡先 | 担当者 | 荒木 芳生 |
| | 電話番号 | 052-744-2353 |
| | Eメール | y.araki@med.nagoya-u.ac.jp |

名古屋市立大学病院



| | |
|------|---|
| 病院長名 | 小椋 祐一郎 |
| 所在地 | 〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 |
| 交通案内 | 地下鉄：桜山駅下車3番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車 |

病院の特徴

当院は808床の病床、30の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。手術室は、平成29年度からは、ハイブリッド手術室や4Kの内視鏡手術室を増設し、全16室体制となりました。平成28年度手術件数は、入院手術・外来手術を合せて年間8,396件を誇ります。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受けると共に、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋市立大学医学部脳神経外科プログラム

以下の特徴を持つ名古屋市立大学と関連病院での専門研修についても一度お考え下さい。

1. 充実した設備が整っています。
2. 症例検討会、抄読会、手術手技研修会など研修、生涯教育に役立つ知識・技術・経験の獲得・共有をはかる機会を多く設けています。
3. 聴神経腫瘍の手術を多数行っています。
4. 覚醒下脳腫瘍摘出術を行うことができます。
5. パーキンソン病の手術治療を行っています。
6. 多くの脳血管内治療学会指導医・専門医からの指導を受けられます。
7. 各専門分野の指導医が患者様個人を尊重した診療を専攻医と共にを行います。

<研修モデル>

| | |
|-----|-------------------------|
| 1年次 | 研修連携施設 |
| 2年次 | 研修連携施設 |
| 3年次 | 研修連携施設 / 研修基幹施設 |
| 4年次 | 研修連携施設 / 研修基幹施設 専門医試験受験 |

詳細については、名古屋市立大学病院総合研修センターHPと
http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html

名古屋市立大学脳神経外科学HPもご参照下さい

<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/noge.dir/>



▲研修風景

主な連携施設

- 名古屋市立東部医療センター
- 豊川市民病院
- 蒲郡市民病院
- 中東遠総合医療センター
- 名鉄病院
- 大隈病院
- 知多厚生病院

メッセージ

未来の医療を支える
脳神経外科医を育成するプログラム。

脳神経外科 部長 間瀬 光人



名古屋市立大学病院脳神経外科の専門研修プログラムでは、設備の整った施設群で様々な症例を経験できます。

ぜひ、私達と協働し実りある研修を行いましょう。



▲医局員集合写真

募集要項

| | | |
|--------|--|------------------------------|
| 採用予定人数 | 数十人 ※全領域あわせた人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定 | |
| 給与/月額 | 228,000円～478,000円 (勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる) | |
| 当直回数/月 | 4回程度(診療科により異なる) | |
| 当直料/回 | 24,000円～34,000円 | |
| その他 | 年間有給休暇20日間、通勤手当、協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり | |
| 応募連絡先 | 担当者 | 医学・病院管理部教育研究課医療人育成係 専攻医募集担当 |
| | 電話番号 | 052-853-8545 |
| | Eメール | s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp |

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

藤田保健衛生大学病院

病院長名 湯澤 由紀夫

所在地 〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

交通案内 名鉄線名古屋駅より(22分)前後下車、名鉄/バス(15分)「大学病院」下車、桜通線名古屋駅より(35分)徳重駅下車、名古屋市営バス徳重13系統または名鉄/バス(16分)「大学病院」下車、鶴舞線伏見駅より(21分)原駅下車、名古屋市営バス徳重13系統(33分)「大学病院」下車

平成30年1月 新棟オープン



病院の特徴

当院は名古屋市に隣接しており、道路を渡ると名古屋市という好立地にあります。多種多様な疾患に対応しており、DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」で当院のDPC件数が全国の大学病院の中で第1位となりました。(平成26・27年度)

脳神経外科は内科、外科などと並ぶ基本診療科の一つであり、外科的治療だけでなく脳腫瘍、脳血管障害、脊椎疾患、頭痛、認知症など総合的神経疾患の予防、治療からリハビリテーションまで行う診療科です。

脳卒中科では、最良内科治療、脳血管外科手術、脳血管内治療の的確な組み合わせによる包括的脳卒中診療を行い、脳卒中からの生還、脳卒中の撲滅を目指しています。

研修プログラムの特徴

〈脳神経外科〉

【研修プログラム名】脳神経外科専門研修藤田保健衛生大学医学部プログラム
【研修目標】脳神経外科領域の病気をすべてに対して、予防や診断、手術的治療および非手術的治療、リハビリテーションあるいは救急医療における総合的かつ専門的知識と診療技能を、獲得します。

【研修期間】4年

【研修スケジュール】当プログラムでは年間約800件の手術および約200件の血管内治療を行う有数の治療実績をもとに、各部門の指導医(脳腫瘍(悪性・良性)、脳血管障害、脊椎・脊髄疾患)から、手術指導などを通して、臨床医としての修練を支援します。特に若いうちから手術手技を習得してもらえようという教育に力を入れており、各種専門医、認定医の取得が可能です。また勉強会や実技講習などによって基本的な脳神経外科知識・技能を習得して頂く工夫をしています。研究も推進しており、中枢神経系の機能再生、脳腫瘍の遺伝子解析による個別化治療、血流動態解析に基づいた脳血管内治療の研究などを行っています

〈脳卒中科〉

【研修プログラム名】ハイブリッド脳血管外科医養成コース

【研修目標】脳血管障害に対する包括的治療技術を習得することを目的とする。具体的な到達目標として、日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・日本脳神経血管内治療学会認定専門医・日本脳卒中の外科学会技術認定医を全て取得する。

【研修期間】3-4年

【研修内容】以下のカリキュラムを通じ脳卒中専門医として必要な知識を習得するとともに、研修期間中に脳神経血管内治療専門医または指導医の指導のもとに、100例以上の脳血管内治療を経験する。このうち、20例は脳動脈瘤、5例は脳・脊髄動脈静脈奇形または各種動脈瘤、15例は血行再建術(局所線溶療法を含む)を経験する。個々の到達レベルに応じて、約20例を術者として経験する。さらに、研修期間中に約20例の未破裂中大脳動脈瘤または内頸動脈瘤を術者として、かつ研修期間中に約5例のバイパスまたはCEAを術者として経験する。

院内実務研修

- (1)脳卒中患者のトータルマネジメント(2)手術(血管内治療含む)の適応を決定するための画像診断の訓練(3)手術(血管内治療含む)計画作成
- (4)助手として手術(血管内治療含む)全体の見取り(5)画像カンファレンスによる学習(6)手術ビデオによる学習(7)周術期管理off the job トレーニング(8)トレーニング用模型を用いたカテーテル操作実習(9)ガーゼの縫合訓練(10)チューブを用いた縫合訓練(11)手術室での顕微鏡操作実習



▲手術風景(脳神経外科)



▲手術風景(脳卒中科)

主な連携施設

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院、トヨタ記念病院、藤枝平成記念病院、浜松赤十字病院、西知多総合病院、名古屋記念病院南生協病院、辻村外科病院、八千代病院、一里山・今井病院、渡辺病院、第一なるみ病院、かなめ病院、善常会リハビリテーション病院、知多リハビリテーション病院、相生山病院、ジャパン藤脳クリニック、野々村クリニック、いみずクリニック 他

メッセージ

脳神経外科指導医 講師 安達 一英



研修医の皆さんこんにちは。当プログラムに興味を抱いていただき、ありがとうございます。当プログラムの特徴はそのバランスの良さにあると考えられます。臨床面では各種専門医・指導医の指導を豊富な臨床症例を元に受けることが出来ます。また研究面におきましても基礎研究だけでなく臨床研究も行うことが可能です。予定手術だけでなく、救急疾患の緊急手術なども多く、正直多忙ではありますが、その分得られることはたくさんあると思います。初期研修で得た知識、技能を思う存分発揮していただき、さらなる飛躍ができるようにやる気のある先生を男女問わずお待ちしております。また当院は病床数も多く、その分勤務医数も多くなりますが、当大学出身者だけではなく、様々な大学の出身者で占められています。実際、現在脳神経外科医局に勤務している医師のうち半数は他大学出身者です。学会出張先での食事会や、医局行事とは別の食事会なども企画し交流を深めています。このようなこともあり、医局員同士の意思疎通は良好です。一度見学に来ていただくと良くわかると思いますので、興味を持たれた方はご連絡ください。お待ちしております。

脳卒中科指導医 助教 鈴木 健也

2016年4月、包括的な脳卒中診療を目的として脳卒中科が設立されました。現在は中原一郎教授を中心とした7人の医局員で構成されており、脳神経外科若手医師とともに診療に当たっています。

当科の特徴は、全ての脳卒中患者さんに対して急性期から内科・外科の区切りなく積極的に取り組むことでtime lossなく適切なタイミングで適した治療を行なっていること、血管内手術及び直達手術を高いレベルで提供し、ハイブリッドな治療を実践していることにあります。急性期治療のみならず、予定手術も多く、全国から難症例の紹介をいただいています。バイパスを併用した高難度脳動脈瘤治療やフローダイバーターなどの最先端デバイスを使用した治療、また血管内手術・直達手術を組み合わせることでそれぞれの利点を生かした治療をみ出すなど、疾患および個々の患者さんの背景に合わせたテーラーメイド医療を実践しています。治療方針の検討・確認はカンファレンスで行い、常に最新の医療情報を共有するようにしています。手術症例については、3D multifusion imagingを用いた手術シミュレーションや予想術の絵を描くことで、手術に必要な知識や技術的tipsの確認・伝授をしています。また、術後は重要ポイントをまとめた編集ビデオを提示し、皆で議論することで、経験を共有し技術レベルの向上を図っています。

今後は、脳神経外科のみならず、救急科・神経内科・放射線科・リハビリテーション科など、様々な分野から脳卒中診療を志す医師がチームに加わる計画です。脳卒中医療を学びたい方、我々の理想とする包括的脳卒中診療をともに実現しようと思いを持っていただけの方は、ぜひご連絡いただけたらと思います。

募集要項

| | |
|--------|--|
| 採用予定人数 | 3~5人(脳神経外科) / 2人(脳卒中科) |
| 給与/月額 | 基本給:月額268,840円 別途、賞与、その他各種手当、その他支給あり(脳神経外科・脳卒中科共通) |
| 当直回数/月 | 4回/月(脳神経外科・脳卒中科共通) |
| 当直料/回 | 当直12,000円/回 オンコール手当7,000円/回(脳神経外科・脳卒中科共通) |
| その他 | |
| 応募連絡先 | 担当者 安達 一英(脳神経外科) 〈秘書〉山戸(脳卒中科) |
| | 電話番号 0562-93-9253(脳神経外科・脳卒中科共通) |
| | Eメール neuron3@fujita-hu.ac.jp(脳神経外科・脳卒中科共通) |

愛知医科大学病院



| | |
|------|---|
| 病院長名 | 羽生田 正行 |
| 所在地 | 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 |
| 交通案内 | 地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分 東名高速名古屋ICから車で約15分 |

病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。充実した設備と最新の診療体制を整え、名古屋市東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。特定機能病院、高度救命救急センター、基幹災害医療センターなどに指定され、2017年5月1日付けでNPO法人卒後臨床研修評価機構の定める認定基準を達成していると施設として4年認定の更新がされました。

2014年5月に新病院が開院し、「元気ホスピタル～あなたを元気にする。私も元気になる」を病院のスローガンに、職員一丸となって日々精進しています。先進医療と最適な医療環境を提供し、患者さんが元気になって頂く事はもちろん、医療体制の分業化や本来業務」の特化を図る事で、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

愛知医科大学脳神経外科専門研修プログラム

【研修目標】

初期臨床研修後に脳神経外科専門研修プログラムに所属し4年以上の定められた研修により、脳神経外科領域の病気すべてに対して、予防や診断、手術的治療および非手術的治療、リハビリテーションあるいは救急医療における総合的かつ専門的知識と診療技能を獲得する。

【研修期間】

4年

【研修スケジュール】

- 1～2年目：愛知医科大学にて、脳神経外科患者管理（神経学的、放射線学的ならびに各種補助検査の実践ならびに病棟管理）を習得し、穿頭術ならびに開頭術の習得や血管内手術や顕微鏡手術の助手としての技量を身につける
- 3年目：連携施設や関連施設において更なる救急疾患への対応
- 4年目：全般的な脳神経外科手術（脳腫瘍、脳動脈瘤、脊椎脊髄外科、血管内手術）の高度な手術手技の習得する



▲顕微鏡でのmicrosurgery

主な連携施設

- 津島市民病院
- 中東遠総合医療センター
- 名古屋徳洲会病院
- 総合上飯田第一病院

メッセージ

指導医
教授 高安 正和



脳神経外科は欧米ではNeurosurgery（神経外科）と呼ばれ、本来、外科的な治療手段を用いて、脳はもちろん、脊髄・末梢神経といった神経疾患全般を診療

する科であります。愛知医科大学脳神経外科はまさしくこういった神経外科としての使命を果たすべく、脳血管障害、脳腫瘍、脊髄末梢神経外科、小児脳神経外科など幅広い分野を扱い、学内の脊椎脊髄センター、脳血管内治療センター、てんかんセンターなどと密接に連携を計りながら、各分野でトップクラスの診療を提供しています。特に低侵襲な治療を心がけ、顕微鏡手術を用いたマイクロサージャリー、神経内視鏡、さらに血管内治療などを駆使して治療を行なっています。

また、臨床研修と同時に神経科学研究にも積極的に取り組んでもらい早期の博士号の取得を指導しています。みなさんの若い力を大いに期待しています。ぜひ愛知医科大学脳神経外科研修プログラムにご参加ください。

脳神経外科

募集要項

| | | |
|--------|--|-------------------------|
| 採用予定人数 | 1人 | |
| 給与／月額 | 基本給167,200円 +地域手当+調整加算手当等 約56,000円 | |
| 当直回数／月 | 1～2回 | |
| 当直料／回 | (救急外来)宿直手当 約32,000円 (病棟)宿直手当 20,000円 | |
| その他 | 通勤手当、住宅手当、扶養手当、賞与(年2回)、社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金))、健康診断 ※診療科から外勤の斡旋があります。 | |
| 応募連絡先 | 担当者 | 上甲 真宏 |
| | 電話番号 | 0561-62-3311(内線22138) |
| | Eメール | mjoko@aichi-med-u.ac.jp |